

平 朝彦 徳山英一 高木秀雄
榎並正樹 中川光弘 横田修一郎
楡井 久 升本真二 平山 廉
吉川周作

2007年度 第8回理事会 議事録

2008年1月18日
日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2008年1月12日（土）

12：00～17：00

場 所：地質学会事務局

出席者：伊藤副会長・佃副会長、渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・狩野・倉本・斎藤・中山・久田・向山・矢島 各理事、橋辺（事務局）

欠席者：木村会長、Wallis・公文・宮下・藤本

*成立員数（12/17）に対し、出席者12名、委任状5名、欠席者0名で、理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

<他団体の会合、後援など>

・富士山学会よりの富士山科学看板設置調整委員会の専門委員1名の推薦については、高橋正樹会員の承諾が得られ、推薦した。

・日本ジオパーク連絡協議会（会長-米田徹糸魚川市長）が設立された（12月26日）、学会宛に「ジオパーク推進に関わる要請書」が寄せられた。

・平成19年度学術振興会賞の決定通知があった。地球科学系（地学）の受賞者はなし。次回の推薦依頼は4月を予定。

・平成19年度沖縄研究奨励賞受賞者の決定通知があった。本会推薦の井龍会員は残念ながら受賞にはいたらなかった。

会員関係（担当理事-中山）

1) 入会の承認（正2名）Rehman Hafiz Ur 渡辺敬三

2) 退会（正1名）李 京昌

3) 逝去（正2名）福田正光（2007/12/8）長田幸久（2007/12/7）

4) 12月末日会員数

賛助34，名誉74，正4,425（うち院273），準39，合計4,572（前年比 -60）

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

・連合地学オリンピック小委員会（久田）現在、国際地学オリンピック日本委員会の設立が検討されている。

地質学会としてサポートする。

学術会議関係報告（木村会長=連携会員）

会計関係（担当理事-向山）

・08年度予算案及び関連事項について2008年度事業計画（素案）が提示された。4月評議員会を日途として内容を検討する。

2008年度事業方針との対応で調整する。

・アイランドアークの出版にかかわる予算について継続的に検討必要。

・秋田大会開催にかかわる予算について検討。参加者を600名としてシミュレーションをした。

・故秀 敬名誉会員のご遺族から、ご寄付があった。

広報委員会（担当理事-倉本）

インターネット運営小委員会（委員長-坂口有人）

・新システムによるメーリングリスト機能の修正・改善をおこなった。会員番号（ID）がメール本文中に表示される不備については、修正作業中。

・MLシステムの改善を理事会からさらに要請した。

2. 学術研究部会（部会長-公文）

行事委員会（斎藤委員長）

・秋田大会については、鉱物科学会とは同時開催であるが、実質的な共催としたい。

・2月に斎藤委員長が秋田大を訪問し、巡検、参加費などについて打ち合わせをする予定。

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

・日-タイ小委員会の発足（委員：久田健一郎・上野勝美・仲谷英夫・曾根正敏・脇田浩二）

・日-モンゴル小委員会（委員：東田和弘・坂巻幸雄・大藤 茂・高橋裕平）

・日-フィリピン小委員会（委員：松岡篤）

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下=企画担当）

・今月の編集状況は以下の通りです（1月11日現在）。

114-1月号：論説2・短報2・口絵1（約50ページ+校正中）

114-2月号：論説3・短報2・口絵1（入稿準備中）

・2007年度投稿論文総数81編〔論説55（和文54+欧文1），総説7（和文7），短報13（和文12 欧文1），ノート4（和文4），報告2（和文2）〕口絵9（和文6 欧文3）※うち61件が電子投稿

投稿数昨年比 -21 査読中 46編 受理済み 6編（うち 教育特集4）

・2008年度度投稿論文総数3編〔論説3（和文3）〕

Island arc編集委員会（担当理事-Wallis，事務局長-竹内圭史・角替敬昭）

1. 2007年出版結果

2007年16巻の年間契約ページ数576（～最大620）p.

1号 Pictorial 1編，特集6編，一般8編。210p。（科研費18年度計画 540p に対し560p）

2号 一般7編。108p.

3号 フィリピン海特集7編，一般5編。186p.

4号 Pictorial 1編，一般5編。102p. 年間606p. 契約に基づき2008年から30p前借り。

2. 2008年編集状況

2008年17巻の年間契約ページ数は620p（07前借り30pの件は要確認）

2号 Pictorial 1編，一般10編，181p.

WEB公開済み（科研費19年度計画 700pに対し577p見込み）

2号 手持ちPictorial 1編一般原稿3編。2月下旬入稿を予定。

3. 特集

フィリピン海特集：Guest Editors小原・徳山・Stern

7編を16-3号掲載。もう1編を一般論文として掲載予定。

板谷特集：GE板谷・Sajeev・Wallis

6編受付済み，うち受理1編をWEBで先行公開済み。掲載は17-3号か？

久田特集：GE久田・Yumul（IGCP 516）

全24編受付済み，うち5編受理。17-4号・18-1号分割掲載を予定。

HKT（ヒマラヤ）特集：GE Wallis・Aitchison・Ali

全7-8編に変更，7編受付済み。掲載は18-3号以降になる。

08年集会の特集の打診も来ている。

寺林特集：GE寺林 6編予定

4. 中期的投稿状況

07年12ヶ月で新規投稿97編（特集10+6+24+7編，一般46編，口絵4編）。一般に限っても十分な投稿が集まっている。

MCへの登録：12月末時点で約670名（著者360余名+査読者220名+編集委員75名（新旧含む）+特集GE4名）

5. ・AOGS（June 16-20, 2008 in Busan, Korea）のセッション

[SE58] Permo-Triassic Collision, HP-UHP Metamorphism and Tectonic Exhumation along the East Asian Continental MarginのIsland Arc特集企画をConvener Prof Ernstに提案（石渡前編集委員長）。前向きに検討するという返事だった。

Island arc連絡調整委員会（委員長-会田，担当理事-Wallis）

・1/10付けで、学振にアイランドアーク刊行状況報告を出した。

・2009年以後のOnline閲覧費用について

Wiley-Blackwellとの合意はまだ得られていない。引き続き交渉する予定。

企画出版委員会（担当理事-藤本）

- ・地質環境の長期安定性に関する研究委員会のリーフレット企画について、高橋さんに説明に来ていただくのは、2月以降にさせていただきます。
- ・地学読本：近々、最終原稿を出版社に渡す。前書きを会長に依頼する。表紙に地質学会のロゴとIYPEのロゴを入れる。

4. 普及教育事業部会（部会長-矢鳥，藤本）
地学教育委員会（委員長-阿部国広）

- ・屋久島の地学リーフレット作成に関連し、屋久島地学同好会との巡検について年末に関係者の巡検を行った。
- ・地質の日に合わせ、箱根探検マップを使って実際に探検するという企画を検討中。関係者との調整など具体化は今後。予算化10万円。
関東支部の箱根巡検が予定されている（5月17、18日）ので、連携調整を進める。
- ・地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」地層名委員会（委員長-天野）
- ・「国際層序ガイド」の再販について検討中。

5. その他

支部長連絡会議（担当理事-伊藤）

- ・ジオパークの件も含め、支部長あてに検討事項を文書で送る予定。
- ・東北支部の支部規約の整備をめざす。

ジオパーク推進委員会（担当理事，佃委員長）

- ・理事会の元に、日本地質学会ジオパーク支援委員会の発足を検討することとした。次回に具体的な提案をする。
- ・支部の援助を受けられる体制をめざす。

学会就業規則整備委員会（委員長-立石雅昭）

- ・学会事務局員の給与額の見直しのため、国立大学等における給与差額支給の詳細資料が理事会に送付された。差額支給の決定については議事へ。

6. 選挙管理委員会（委員長-加藤潔）

- ・開票は予定通り12月17日に行い、結果を会長に報告した。
- ・湯浅真人会員の立会人申込みがあり、開票に立ち会った。
- ・引き続き理事の選挙を行うため、全代議員にその旨通知した。

【以下、理事会および評議員会の下の委員会】

各賞選考委員会（委員長-安藤寿男）

- ・各賞の推薦が締め切られ、本格的な審査に入る。
- ・選考検討委員会委員長は、狩野理事に決定。
- ・学会賞：1名、柵山賞：4件3名、小沢賞・国際賞：0名が推薦されており選考に入る。

法務委員会（担当理事：委員長-上砂）

- ・12月14日の委員会
除名細則に関する手続きの詳細について検討した。
- ・12月26日の委員会
除名申立の受理に関して審査した。

7. 地質の日推進委員会（担当理事-藤本）

- ・来年度事業計画について、地質の日関連で、昨年作成した箱根たんけんマップなどを利用した巡検など、地質学会の出版物とリンクさせた取組みができないかと検討中。
- ・「地質の日」の記念日登録は地質学会に委ねられた。登録料は52,500円。
- ・各団体等で実施予定の事業についてとりまとめ、連携等に資することとした。

○審議事項

1. 地質学雑誌の表紙リニューアルに伴うデザイン募集について（狩野理事）

- ・投稿締め切り：3月31日
- ・一般公募し、必要な場合はそれを元にデザイナーにデザインを依頼する。
- ・応募はPDFファイルで提出。
- ・採用作品には賞金50,000円を与える。
- ・募集要項原案を倉本が作成し、事務局と編集委員長で検討する。

2. 男女共同参画学協会連絡委員会（=地球

惑星連合）より、学術振興会事業における女性審査委員候補者の推薦依頼に関して（渡部常務）

女性地球科学者の未来を考える委員会（堀委員長）に人選を依頼し、田崎和江、堀利栄2会員について本人の承諾を得て、男女共同参画学協会連絡委員会に推薦することを承認した。

3. 2008年度事業方針案・事業計画案・予算案について（向山理事ほか）

次期会長陣との協議に基づく事業方針案、事業計画案は2月理事会までに策定し、概要が了承された事業予算案を最終的に編成することとした。3月中に確定し、4月評議員会に付す予定。

4. 除名処分の手続き上の問題について（上砂理事）

手続きの確認を行い、会員に向けて開示する事とした。

5. 選挙執行・管理体制の制度的整備について（渡部常務）

選挙管理委員会への感謝と意見聴取を行う。改善点について選管と意見交換を行い、今後の改革について検討することとした。

6. 学会事務局職員の給与額改定について（渡部・向山理事）

公務員の基準に準拠して事務局員の給与差額の支払いを行うこととし、常務理事より事務局長に通知した。

7. 就職支援活動（四役会議より）

就職支援活動に関する検討を行うWGを立ち上げる検討を開始する。

WGメンバー：向山，矢鳥，伊藤，理事会外から若手1名

8. 年末に向けた法人登録の準備にかかる実務体制について（四役会議）

法人登録に必要な作業について、情報収集する相談会を行う。メンバーは、運営財政部会長，高木弁護士，山本幹事（司法書士），四役とする。

現法人化実行委員会の発展的解消。